

信州千曲市

科野の里歴史公園

「森將軍塚古墳」

およそ1600年前に造られた全長約100mの前方後円墳で、日本最大級の竪穴式石室を備える。4世紀頃にこの帯を治めた豪族の墓で国指定史跡となっている。現在は築造当時の姿に忠実に復元されており、古墳の形が大きく石積み方法だけでなく、周囲には当時も古墳を飾っていた埴輪を復元して並べている。

古墳の麓には発掘された竪穴住居や高床倉庫、田畑等が再現され古墳時代の科野のムラが広がっている。

杏里庵

6月中旬頃、あんず狩りを楽しめます。直売所ではあんず製品のお土産も。
●連絡先 / ☎026 (273) 2006

横島物産

創業50年以上。自社農園で育てた杏を、手作りで無添加のジャムや干しあんず等に加工し販売。夏には横島アプリコットファームで杏狩りが楽しめます。
●連絡先 / ☎026 (273) 1311

千曲市森將軍塚古墳館

森將軍塚古墳の竪穴式石室や出土した副葬品、埴輪の実物や模型・映像を展示。古墳頂上までは見学バス(有料)も運行。(休館日)毎週月曜日及び祝日の翌日、年末年始
●連絡先 / ☎026 (274) 3400

長野県立歴史館

信州の歴史が学べることはもちろん、蔵書類も充実。各時代の暮らしが忠実に再現された常設展だけでなく、様々な企画展や講座等も魅力の1つ。(休館日)毎週月曜日及び祝日の翌日、年末年始
●連絡先 / ☎026 (274) 2000

あんずの里アグリパーク

国内最大級の規模を誇るいちご園でのいちご狩りのほか、温室を利用したみかん園も併設。フードパークやベーカリー、県内産を中心としたお土産物を取りそろえる売店も揃う観光農園。メインのいちご狩りは12月~6月頃まで。
●連絡先 / ☎026 (273) 4346

工房アプリコ

日本一の杏の里で採れた杏を、地元のお母さん達の家庭秘伝のレシピで仕上げた品々が自慢。他にも信州にこだわったドライフルーツや乾燥野菜も。
●連絡先 / ☎026 (214) 5058

あんずの里物産館

地物の農産物や地元産のあんずを使った加工食品・各種お土産等の販売、レストランを行っている。レストランはキッズスペース完備。
●連絡先 / ☎026 (274) 7712

森食品工業株式会社

ジャムやシロップ漬け、杏菓子等の杏の加工製品をはじめ、各種ジャムや健康飲料等の信州の素朴なおいしさをお届けしています。
●連絡先 / ☎026 (272) 0121

戸倉上山田温泉

善光寺参りの精進落としの湯として、120年以上も昔から戸倉上山田温泉は県内屈指の温泉街を形成してきた。昭和レトロな雰囲気が残る温泉街では、スナックや飲食店が軒を連ねており、夜になるとネオンの明かりと共に射的の音が響く。現在は、50以上の源泉が湧き起り、豊富な湯量で銭湯で30軒の温泉を掛け流す贅沢さが自慢。大小合わせて約35軒の旅館・ホテルでは自家源泉を複数持つ宿も珍しくなく、客室の浴槽にまで年中湯を掛け流している宿もある。しっとり肌をやわらかくし、「美肌の湯」としても知られる泉質は無色透明の単純硫黄泉がほとんどだが、やや薄緑がかつていたり、湯の花や気泡を含んでいたりするものもある。中には一日のうちにお湯の色が何度かわるというお宿も。

ジャーマンアイリスまつり

5月上旬~下旬、倉科の約1ヘクタールの花園に約400種ものアイリスが咲き誇る。球根をお土産に持ち帰ることができる。入園料無料。
●連絡先 / ☎026 (272) 4045 (ジャーマンアイリス観光花園)

戸倉宿キティパーク

やぎやうさぎのいる公園。ローラー滑り台やアスレチックなどがある。日本最大級の天狗が自印。3月の節分草、4月中旬頃の桜が見どころ。

観光ガイドタクシー (旅の案内人語り部タクシー)

事前予約	■更埴観光タクシー ☎026-272-0036
	■畑山ハイヤー ☎026-275-0555
車種別	■運賃
ジャンボタクシー (9人乗り)	最初の30分まで6,200円 以後30分ごとに6,200円
普通車	最初の30分まで4,300円 以後30分ごとに4,300円

観龍寺観音堂

信濃三十三番観音霊場の第六番札所として広く知られ、地元では古くから「森のお観音さん」と呼ばれ親しまれている。また、境内の古木の桜は見事です。

更埴ICより旧街道蔵の街へ

3.7km・車10分

旧街道蔵の街

治田公園

2つの池のほとりに治田神社が鎮座するのどかな公園。春にははしだれ桜やソメイヨシノが咲き誇り、お花見客で賑わう。

姨捨正宗蔵元長野銘醸

元禄二年(1689年)創業の蔵元で昔ながらの手作り純米酒を製造。蔵見学は完全予約制、営業時間内は試飲販売も。
●連絡先 / ☎026 (272) 2138

姨捨の棚田

平安時代の頃から姨捨は観月の名所として知られ、古今和歌集にも詠まれた場所。江戸時代から明治にかけて開田が大きく進むにつれ、小さな棚田に映りこむ月影が層注目されるようになった。斜面に並ぶ不揃いな形の田んぼはそれぞれに月が移りゆくことを「田毎の月」と言い表し、姨捨の田毎の月は松尾芭蕉や小林一茶など多くの俳人が訪れ、歌句の

題材にもなっている。幻想的な景色が人々を魅了し続けた姨捨の棚田。古今和歌集に姨捨の景観と月の歌が残っていることは、いかにこの風景が古くから愛されてきたかを物語っている。姨捨の棚田は国の名勝に指定された、国の重要な文化的景観の選定も受けている。季節や時間で姿を変える風景は日本の原風景を想わせ、素朴な感動を与えてくれる。現在は総面積約40ヘクタール、約1500枚の田があり、地元農家のみなさんを中心に、棚田オーナーや保全団体の方々が耕作している。

令和2年度 日本遺産認定 月の都 千曲 ~姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」~

味噌蔵たかむら

大正八年(1919年)創業、国産原料にこだわった信州みそを醸造。
●連絡先 / ☎026 (276) 0591

さらしなの里展望館

眼下にさらしなの里が一望できるそば店。手打ちで地元産にこだわったそばが魅力。
●連絡先 / ☎026 (276) 1800

更埴ICより戸倉上山田温泉へ

9km・車23分

更埴ICより国史跡森將軍塚古墳入口へ

3km・車7分

戸倉上山田温泉

